

【 第3回中標津町自治推進会議報告 】

日時：平成26年10月9日（木）19：00～21：00

場所：中標津町総合文化会館 2階 第2研修室

出席者：15名（自治推進会議委員10名、アドバイザー1名、事務局4名）

<会議次第>

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議題
 - （1）班別討議
 - （2）その他
- 4 副会長挨拶
- 5 閉会

<配付資料>

○事前配付

資料1 第2回自治推進会議班別討議内容（添付省略）

○当日配付

資料2 平成26年度自治推進会議日程表

<会議結果報告>

[会長挨拶]

- 1 開会
- 2 会長挨拶：西根会長
- 3 議題
 - （1）班別討議



⇒ 事務局より提案

事務局より、次のとおり話し合いの視点の提案がありました。

ア それぞれの「小さな自治」について、他の「小さな自治」や「大きな自治」とかわりを持たせることで、より良いものや新しいものに繋がるのではないかと。

イ 前回共有したそれぞれの「小さな自治」や今日話し合ったことが、自治の基本原則である「情報共有」「町民参加」「協働」とどう関わっているかというところから、自治基本条例を振り返る。

⇒ 委員より意見

小さな自治どうしが繋がらないと町民活動ができないわけではないし、協働といえないわけではない。目的に合えば連携するが、連携が目的ではない。

⇒ 小さな自治どうしのつながりを前提とせず、つながりがあるかないかも含め、町全体として捉えることとされました。

[会議風景]

⇒ 班別討議

人数が少なかったため、班分けをせずに討議を行いました。（P4 参照）

- ・ 資料1をもとに、前回の振り返り。
- ・ 町内会の活動について

→ 加入率をあげるための取り組みではなく、活動を楽しむ。活動することに意味を感じることが大切。
やりたいひとがやりたいことをやる。

- ・ 子どもたちの活動について

→ じどうかん祭りでは、子どもたちが楽しみながら自治を行っている。たこあげ大会についても、楽しいから子どもが集まってくる。これらの取り組みが、将来子どもの成長に繋がってくる。

- ・ 「情報共有」「町民参加」「協働」の言葉の意味の確認

→ 町民どうしが情報を共有して、町民どうしでお互い参加してという意味ではない。例えば情報共有は、行政だけが情報を持っているのではなく、町民にもちゃんと情報が届きますよという意味。



(2) その他

⇒ 平岡先生より講評

- ・ 組織はミッション（目的）が大事で、そのための手段として、人を増やすとか、体制を強化するということが出てくる。
- ・ 中標津全体で、それぞれの団体が共通に共有できる目標、みんなで目指せるゴールがあるとよい。
- ・ 地域の団体を分類するときには、コミュニティ型の団体（自治会とか、地域の生活をベースにした団体）とアソシエーション型（分野とか趣味とか興味に基づいてできる団体。趣味のサークルやNP0）というものがある。この二つの団体は、お互いに対立しあったり、食い合ったりする団体ではない。二つの団体が相互に役割を補完しあって、連携しながら活動していくと、よりよいまちづくりということができる。
- ・ 社会関係資本（人と人とのつながり、信頼関係）というものがあって、これが地域で多ければその地域は非常に強い、まちづくりの能力が高いと言われている。中標津は現時点でも社会関係資本が強いのではと思うが、またこれからどれだけ強くしていくか、



資本をどんどん中標津に蓄えていくということも、中標津のまちづくりを考える上で非常に重要なテーマになっていく。

⇒ 事務局よりスケジュールの確認（資料2）

次回の会議が今年度最後の会議となることが確認されました。

4 副会長挨拶：小野副会長

[副会長挨拶]

5 閉会



次回の自治推進会議の日程は、下記のとおり予定しております。

○ **第4回 平成27年1月30日（金） 19：00 中標津町総合文化会館2階 第2研修室**

“町内会”

自分たちのことは自分たちで決める＝自治

加入率

52～53%

上げるための取り組みでなく、活動を楽しむ、することに意味を感じる

休憩もアリ

できる人がする!!

中標津のマチを
私たちが
つくる!

《困ってる!》

- ・要支援者がわからない
- ・災害が起きたら?
- ・どう支援する?
- ・隣に入った人がわからない...

他人に迷惑かけたくない

大人も楽しむ! じどうかん祭⇒子どもたちの“自治”

どうやって子どもを引っ張り出すか?

→力が育っているのでは。
子どもは自治とか考えていない
→ただ楽しんでいる

今の小さい取り組みが将来生きてくる!!

やっているから子どもたちが育っていく

大人になって
「こういうことしたな」
「たのしかった」口コミで広がる

町内会の子 1/3 くらい

・タワラマップ川ヤマベ釣り

・西町のお祭り (夜) 企画を出すのが楽しい
桜ヶ丘は昼 お店を出すのが楽しみ!
南町
道具貸す (町内会同士)

他の町内会にもどんどん来て! アピール
→つながり

焼きそば 研究→おいしくなった
作り方気になる!

班長を巻き込む工夫は?

裾野を広げるため

地域の楽しみ

・神社祭が楽しみ
祭が寂れると町が寂れてきた
情報がない 唯一の楽しみ
お神楽、だんじり

あこがれ

原因?

・葬儀社が会館つくったからいらない 委員長 お手伝い

・時代の流れ

・町内会に関わらず、団体に入るメリット・デメリットを考えてしまう

・ボランティア意識がないとできない

・楽しまないと続かない。大変だから

・町内会の役割 (根本) が若い人に伝わっていない

・誘い

・もしも災害が起きたら

楽しみがきっかけとなる?

しらかばごみ収集

教育の段階から

変わらなきゃ!!

西町ゆるいのがいい
意識が育たないと無理

←自分たちが楽しむ工夫をする→お客さんがついてくる

→伝えていく (時間かかって) 文書ひとつでも

登別の例
災害時力になるのは町内会 (女性部)

災害で結束

人とつながると命を守るとつながる?

町の対応は

- ・災害時に重要
- ・組織団作りの働きかけ
→掘り起こし?
- ・連合でチラシ配布している。加入あるが抜本ではない

中標津町自治推進会議委員名簿（グループ分け）

平成26年10月9日

自治推進会議委員

班	氏 名	所属団体等
A	座長 おお かわ やす ひろ 大 川 泰 洋	連合北海道中標津地区連合会
	副座長 かま だ じゅん 鎌 田 淳	中標津町民生委員・児童委員協議会
	きた せ のり ゆき 北 清 禎 之	中標津町農業協同組合
	くり ぎき かつ ひで 栗 崎 勝 秀	中標津町安全で住みよいまちづくり推進協議会
	き とう だい すけ 佐 藤 大 介	公募
	にし ね たつ み 西 根 辰 美	社会福祉法人中標津町社会福祉協議会
	ほん ま れい こ 本 間 玲 子	公募
B	座長 お 小 の ひろし 小 野 弘	中標津町全町内会連合会
	かき ぎき やす お 蛸 崎 康 夫	計根別農業協同組合
	副座長 こ やなぎ ひろみ 小 柳 ひろみ	公募
	すえ た まさ たか 末 田 昌 隆	財団法人中標津町文化スポーツ振興財団
	なる み かず う 鳴 海 和 生	中標津町生涯学習委員会
	ひろ き さとし 廣 木 智	中標津町中小企業振興審議会
	むら かみ とおる 村 上 徹	公募

欠

欠

欠

欠

※50音順

アドバイザー

1	ひら おか しゅん いち 平 岡 俊 一	北海道教育大学釧路校准教授
---	-------------------------	---------------

事務局

1	や もと まさ のぶ 矢 本 正 信	総務部
2	質 だ とし ゆき 質 田 敏 行	総務部企画課
3	か とう たかし 加 藤 崇	総務部企画課協働推進係
4	やま だ ゆめ こ 山 田 夢 子	総務部企画課協働推進係